

点検診断項目

※出典：港湾の施設の点検診断ガイドライン

構造形式	点検診断項目	主な確認内容	点検結果の整理 または 劣化度の判定基準
コンクリート構造物	構造表面の損傷	ひび割れ・剥離・欠損・鉄筋露出	a: 中詰材が流出するような穴開き、ひび割れ、欠損がある。広範囲に亘り、鉄筋が露出している。 b: 複数方向に幅3mm程度のひび割れがある。 c: 1方向に幅3mm程度のひび割れがある。局所的に鉄筋が露出している。 d: 変状なし。
鋼構造物	鋼材の腐食、亀裂、損傷	穴あきの有無、水面上の鋼材の腐食、表面の傷の状況、継手の腐食状況	a: 腐食による開孔や変形、その他著しい損傷がある。 b: 開孔箇所から裏埋材が流出している兆候がある。最低干潮面付近に孔食がある。 c: 全体的に発熱がある。部分的に発錆がある。 d: 付着物は見られるが、発錆、開孔、損傷は見られない。
	陽極※取付状況 ※電気防食の材料	現存状況の確認(全数)	a: 陽極が欠落または全消費している。(欠落の場合は陽極を搜索) b: 陽極取付に不具合がある。(ぶら下がり) c: ※基準の設定なし d: 欠損等の異常はない。
	ペトロラタム※被覆 ※腐食防止剤の一種	保護カバー・ボルト、ナット	a: 保護カバーが脱落し、ペトロラタム系防食材が露出または脱落し、鋼材表面に錆が出ている。 b: 保護カバーや当て板に亀裂がある。ボルト、ナットに腐食が見られる。 c: 保護カバーが変色または白亜化している。保護カバーの表面に微細なクラックが見られる。ボルト、ナット等にゆるみがある。端部シールの部分的剥離が見られる。 d: 変状なし。
	陽極※の形状寸法を計測・記録 ※電気防食の材料	陽極消耗量の測定値を記録し、残寿命を推定する。	陽極消耗量の測定値を記録し、残寿命を推定する。
共通	洗掘、土砂の堆積	・海底面の起伏 ・洗掘傾向か、堆積傾向か	a: 捨石マウンドの法尻前面で深さ1.0m以上の洗掘がある。洗掘に伴い、捨石マウンドや堤体本体への影響が見られる。 b: 捨石マウンドの法尻前面で深さ0.5m以上1.0m未満の洗掘がある。 c: 深さ0.5m未満の洗掘または土砂の堆積がある。 d: 異常なし。